

第4期横浜市南区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会にかかる意見書（集約）【確定版】

施設名： 横浜市六ツ川地域ケアプラザ

応募団体： 社会福祉法人横浜太陽会

委員名	意見（評価できる点等）	質疑	回答
八森委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害への取り組みを地域の方々やネットワークを組みながら取り組んでいる。</li> <li>地域活動を、高齢者、子ども、障がい児・者などの広い領域で行っている。</li> <li>生活支援体制整備事業のための、地域分析・ニーズ把握が行われ、活動計画が打ち出されている。</li> </ul>	なし	
加賀美委員	<p>昭和3年頃から開発され、戸建てと団地が混在している、高齢化率が区内トップクラスだが、元気高齢者が多い地区です。社会参加への関心や活動が活発な地域です。</p> <p>施設と社会資源のひとつ、地域に根を張り、持てる機能を今後の福祉活動に続けて下さい。</p> <p>推薦します。</p>	なし	
加藤委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢化率が区内1番でありながら要介護認定率が区内最下位と言うのは素晴らしい。</li> <li>介護予防に力を入れる事で、元気な高齢者が増えていること。</li> <li>支えあいグループの活動が盛んで高齢者の生きがいがいになっている。</li> <li>外国人の対応を考えていること。</li> </ul>	要介護認定率を下げる事で特に取り組んでいることがあれば。	高齢化が進む六ツ川地域ですが、高齢者がフレイル状態にならないように特に身体を動かす事を重要視しています。各連合町内会、各自治会で福祉保健関係者や地域ケアプラザ職員が介護予防の重要性・必要性を説明し、サロン活動や体操教室等の立ち上げ支援を行いました。ケアプラザ自主事業でも「健康街歩き」などを毎年企画・実施しています。この取り組みを継続していることで、要介護認定率の低下につながると考えます。
川井委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>恵まれているとは言えない立地環境にもかかわらず地域性と課題を十分に捉えた上で、地域とのつながりを重視していることが伝わりました。</li> <li>運営ビジョン、団体の状況、職員の配置及び育成、施設の管理運営、事業、収支計画及び指定管理料について資料の補足説明の完成度が高く容易に理解しました。</li> </ul>	交通の便が悪い中で、ボランティアの具体的な活動があれば伺いたい。	活動者誰もが主体的に参加できるように支援していますが、活動者の環境上、遠方への参加が困難な場合には、自宅でもできるボランティア活動（ウエス作り、ゴミ箱作り等）や近隣で活動しているボランティア等の紹介を行っています。特に、支えあいグループ「すみれ」はボランティア内容も多岐に渡り、活動者の趣味や特技、場所を選んで参加できるため順調です。
佐藤委員	<p>地域との繋がりを持つためにも男性高齢者を中心とした講座にも注目されている。</p>	<p>5事業(5)居宅介護支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括支援センター・生活支援コーディネーター・地域交流コーディネーターとの情報交換から「利用者に還元」とあるが、具体的にどのようなケアプラン作成を心がけていますか。</li> </ul>	ケアプラン作成には、ケアプラザ内の居宅介護支援事業所というメリットを活かし、他セクションから収集した地域のインフォーマルサービスやサロン、ボランティア活動等を利用者に情報提供し、ご希望を伺い、目的・目標に沿って、介護保険サービスのみならず、地域資源も活用できるように心がけています。
中根委員	<p>「元気な高齢者が多い」というのは数字にも裏付けられており、地域の特徴をよく押さえています。地形までも含めてその地域での生活がよくイメージされていると思いました。各事業もよく整理され、インフォーマルサービスの把握と活用にも着目している点は評価したいと思います。</p>	様々な委員会がありますが、人権委員会がありません。職員の人権教育で研修実施と書かれていましたので内容を教えてください。	人権問題については、職員全体会議内においてOJTとして実施しています。内容は、高齢者や女性、同和問題等様々ですが、特に今後増加が予想される外国人をトピックに研修を実施して参ります。また、地域包括支援センター職員を中心に外部研修にも参加していきます。
高羽委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>平戸桜木道路を中心に南北に高い丘が広がるやや複雑な地形を持った地域。</li> <li>高齢化率が2017年より区内トップだが要介護認定率は区内最下位。</li> <li>福祉避難所の運営の中の区役所、地域防災拠点、各町内会、学校等との連携がしっかりしている。</li> <li>広報誌（毎月）の作成・配布が活かされている。</li> <li>ケアプラザ自主事業で、「健康街歩き」などを毎年、企画・実施していること。この取り組みを継続していることで、要介護認定率の低下につながるという考え方。</li> <li>生きていくことは、やはり環境も大切なのではと思います。</li> </ul>	なし	
伊藤委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害に対する取り組みが具体的に明確化されている</li> <li>SNSを活用し若年層にもアプローチしている</li> <li>高齢者や子どもの居場所づくりを支援</li> <li>障がい児・者への支援</li> </ul>	なし	